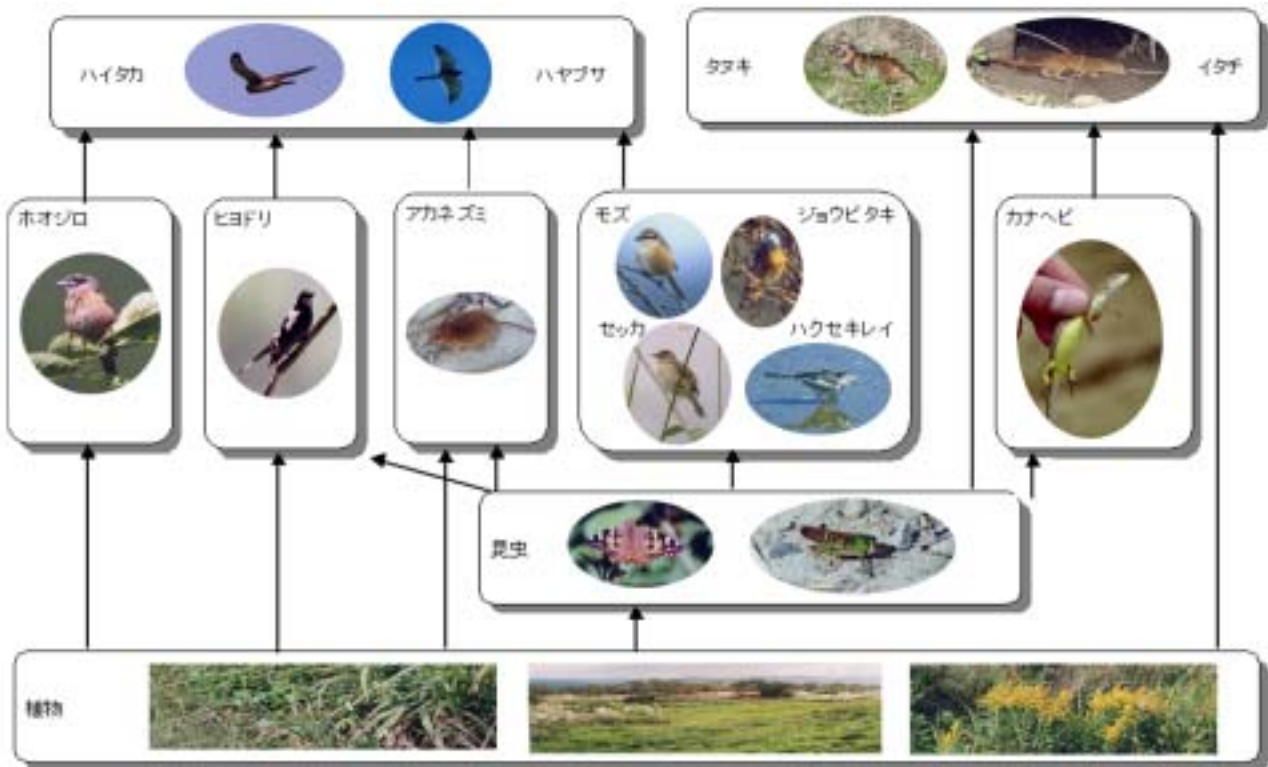


5 - 3 陸上の生態系

陸上にも、独自の生態系が見られます。河川敷だけではありません。水際の植物や砂州に、もいろいろな動物が見られます。河川に存在する多様な場を、多様な生き物が休息場、餌場、繁殖場、移動経路等として利用しています。これの中には、河川独自の攪乱を受ける環境が無くなると、生きることができない生き物もいます。

吉野川で確認される生物を基に、陸上の生態系を想定した例を、模式図にしました。



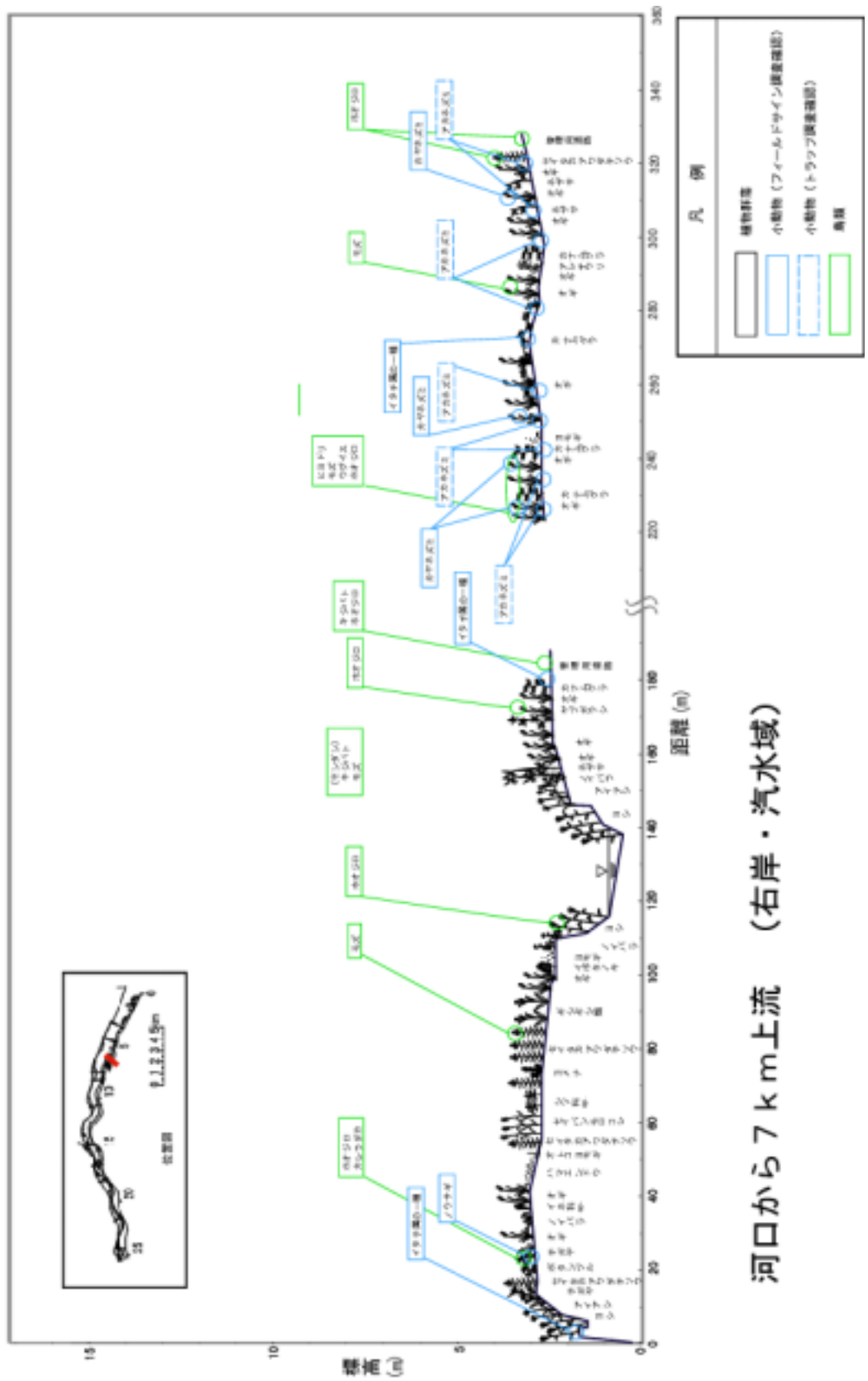
陸上の食物連鎖想定例

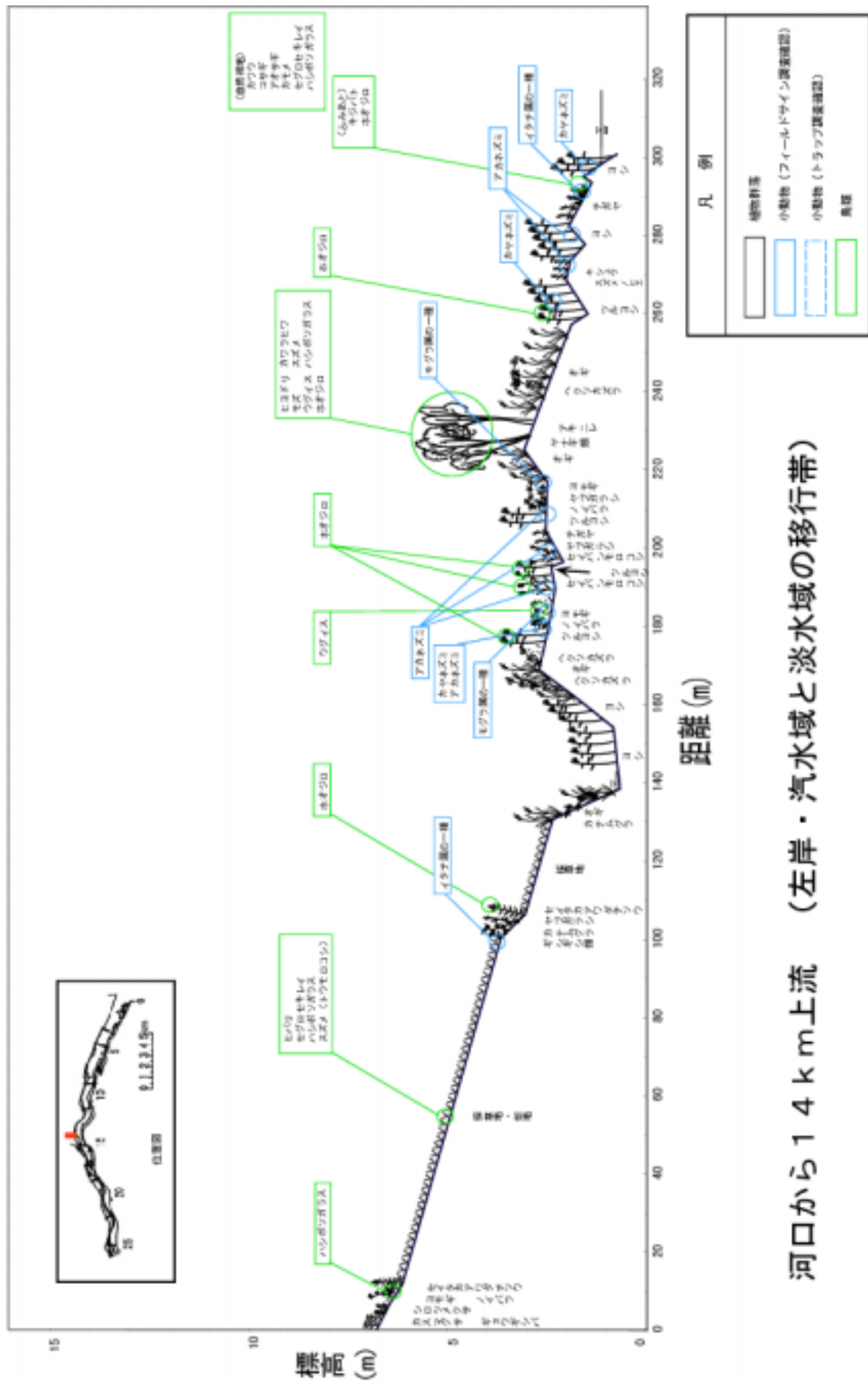
吉野川では、タヌキやイタチ、テンなどの哺乳類を頂点とする食物連鎖と、猛禽類を頂点とする食物連鎖があると考えられます。

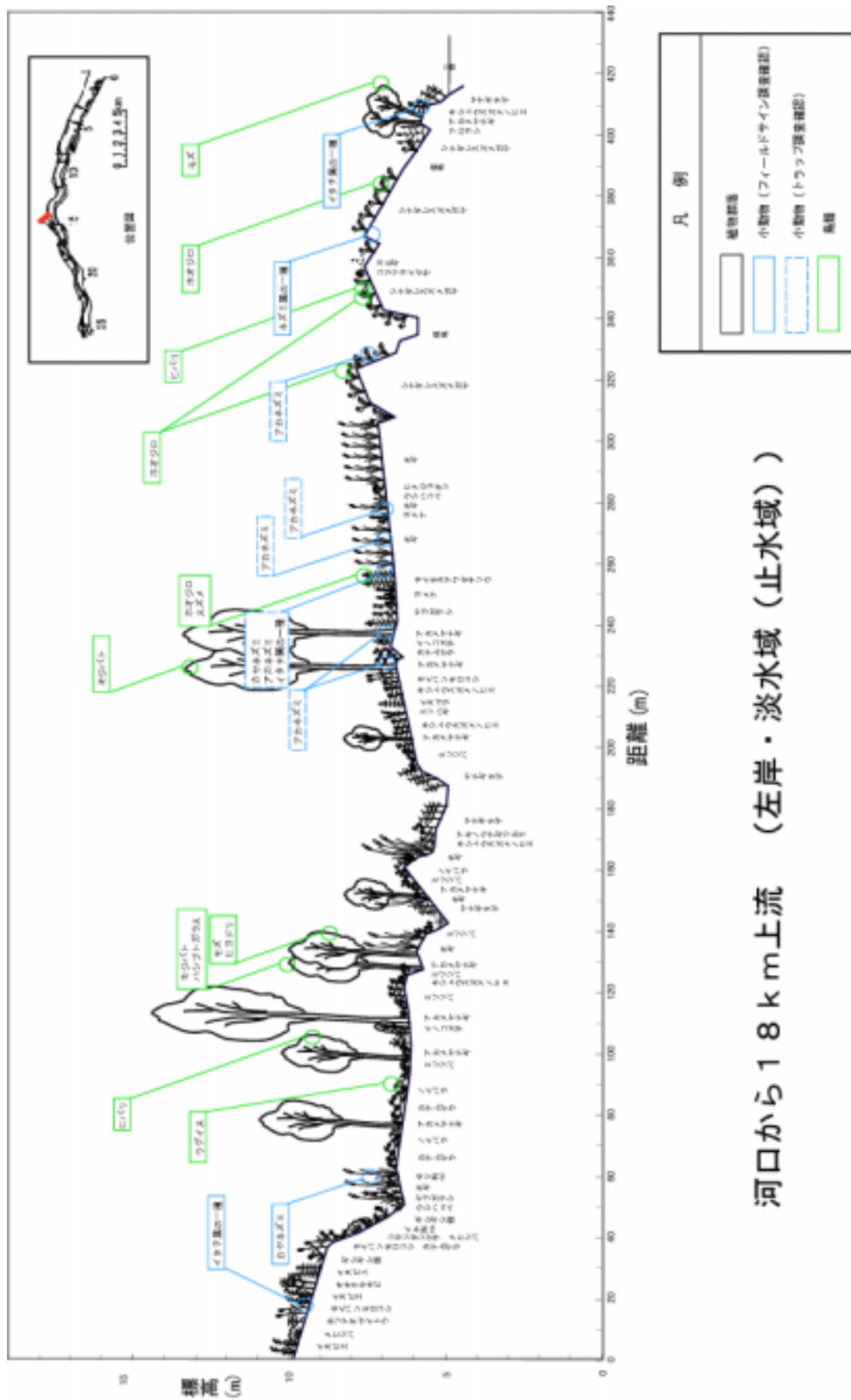
河川敷の草や木の葉、蜜、樹液などは、昆虫の餌になります。木の実などは、鳥の餌にもなっています。昆虫は、哺乳類や鳥類、両生類、爬虫類によって食べられます。そして、より高次の動物が、これらの動物を餌としているのです。

動物は、どのようなところに出現するのでしょうか。ここでは、吉野川の下流において実施した調査結果を基に、動物の生息場所としての吉野川を考えていきます。動物の生息場所は、植物と深く関係していると考えられることから、植物の分布状況と動物との関係を中心に生息場所を考えます。

吉野川のどのようなところで、どのような動物が見つかるのか、調査の結果確認された動物を、植物の断面図上に重ねて図示した例を、以降に紹介します。







河口から18 km上流 (左岸・淡水域 (止水域))

